

## 講演概要

日本医科大学名誉教授  
漢方・免疫たかはし内科クリニック院長

高橋 秀実

*Hidemi Takahashi*

【演題】

# 明らかにになってきた 漢方薬の免疫学的作用機序



## 脂質制御医学の到来に向けて 漢方薬の智慧に学ぶ

一貫堂医学の中島随象先生は「治療は瀉である」と、その高弟・山本巖先生は「防風通聖散の少量投与は補中益気湯の代用になる」と述べられ、中医学には「六腑通ずるをもって補となす」という言葉があります。

本講演の講師である免疫学の泰斗・高橋秀実先生は、西洋医学の「五腑」における脂質汚染こそが「五臓」の機能低下を惹起する原因ならば、「腑」における汚染に関わる脂質(糖脂質)の洗浄・除去こそが、治療の主体となるべきであり、そして脂質によって我々の防衛システム、あるいは自己治癒力が統御されている実態が少しずつ明らかになっている、と述べられています。大変興味深く且つ貴重な講演となるでしょう。